

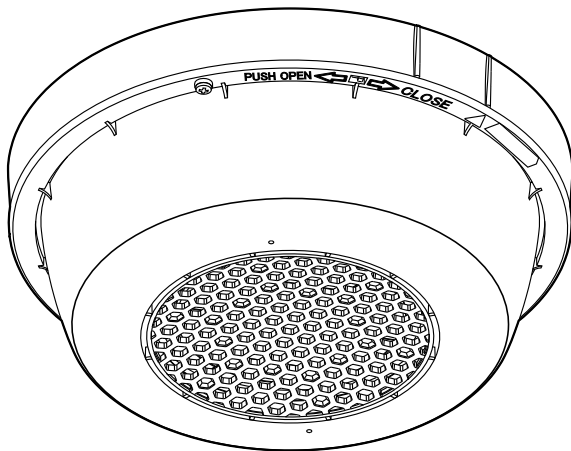
取扱説明書

工事説明付き

スピーカーシステム

品番 **WS-TS130, WS-TS135**

もくじ



はじめに	2
商品概要	2
付属品をご確認ください	2
免責について	2
安全上のご注意	3
取り扱い上のお願い	6
使用上のお願い	6
設置上のお願い	6
各部の名前	8
設置のしかた	9
外形・設置寸法	9
工事必要部材と工具の準備	9
作業前の確認	9
設置場所の確認	10
設置作業	11
設置作業後の確認	19
故障かな!?	20
仕様	21
保証とアフターサービス	22

保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(3～5ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

はじめに

商品概要

本機は、樹脂製キャビネットに12 cmスピーカー、トランスを内蔵した防滴露出形天井スピーカーです。

WS-TS130：アッテネーター（音量調節器）なし

WS-TS135：アッテネーター（音量調節器）付き

- IPx5に適合。優れた防滴性能で、一時的な噴流水にも対応しており、半屋外の軒下などでも使用することができます。
- JIS清浄度クラス1を要求されるクリーンルームに使用することができます。
- 天井面が平らな場合は、コーキング材なしで密閉構造を確保できます。
- 樹脂製キャビネットの引出線ガイド部により、露出配管工事にも対応できます。

付属品をご確認ください

取扱説明書（本書）.....1冊

保証書.....1式

以下の付属品は取付工事に使用します。

結束バンド.....1本

小ねじ（M4×35 mm）.....2本

平座金.....2個

ばね座金.....2個

免責について

弊社はいかなる場合でも以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- ①本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ②お客様の誤使用や不注意による障害または本商品の破損など不便・損害・被害
- ③お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
- ④本商品の故障・不具合および設定・設置の誤りを含む何らかの理由または原因により、拡声ができないことで被る不便・損害・被害
- ⑤第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
- ⑥取付方法の不備など、本商品の不良によるもの以外の事故に対する不便・損害・被害

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。

高所作業は資格者が行う



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。

アンプの電源を入れたまま工事、配線をしない



禁止

火災や感電の原因となります。

配線は正しく行う



ショートや誤配線により、火災や感電の原因となります。

ケーブルなどを傷つけない



禁止

重いものを載せたり、はさんだりすると、ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となります。

ぶら下がらない 足場代わりにしない



禁止

けがや事故の原因となります。

可燃性ガスの雰囲気中で 使用しない



禁止

爆発によるけがの原因となります。

塩害や腐食性ガスが発生 する場所に設置しない



禁止

取付部が劣化し、落下によるけがや事故の原因となります。

振動する場所に取り付けない



禁止

振動で金具が破損し、落下によるけがや事故の原因となります。

安全上のご注意（つづき）

警告

油の付着しやすい場所に設置しない



禁止

取付部が劣化し、落下によるけがや事故の原因となります。

アンカーの引抜強度を確保できる場所に取り付ける



落下や転倒によるけがや事故の原因となります。

雪が落下するような場所に取り付けない



禁止

落下によるけがや事故の原因となります。

落下防止対策を施す



落下によるけがの原因となります。

- 製品内部のひもを必ず取り付けてください

防雪対策を施す



雪の重みで落下によるけがや事故の原因となります。

- ひさしなどで防雪してください。

ねじや固定機構は指定されたトルクで締め付ける



落下によるけがや事故の原因となります。

- 取付工事は販売店に依頼してください。

質量に耐える場所に取り付けをする



取付場所の強度が不十分なとき、落下などけがや事故の原因となります。

- 取付工事は販売店に依頼してください。

過大入力を加えない



禁止

火災やけがの原因となります。

- 異常音が出る場合は過大入力がかかっていますので、直ちに入力レベルを下げてください。

分解しない、改造しない



分解禁止

落下によるけがや事故の原因となります。また、火災や感電の原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。

定期的に点検する



取付部が劣化すると、落下などけがの原因となります。

- 点検は、販売店に依頼してください。

異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、においがする、外部が劣化するなど、そのまま使用すると火災・落下によるけが、器物損壊の原因となります。

- 放置せずに直ちにアンプの電源を切り、販売店に連絡してください。

スピーカーや金具に異常があったら放置しない



禁止

長期にわたって放置すると、各部の劣化が進み、落下によるけがや事故の原因となります。

- 直ちに販売店に連絡してください。

⚠ 警告

取り付けた状態での部品交換は行わない



禁止

部品の落下の危険性があり、事故の原因となります。

変形した取付金具・損傷した外郭部品を使って本機を設置しない



禁止

落下の危険性があり、事故の原因となります。

外郭部にひびや割れが発生した場合は、使用をやめ取り外す



落下の原因となります。

●必ず販売店に依頼してください。

使用しなくなった、あるいは使用不可になった場合、放置せずに取り外す



種々の部品の腐食により、落下の原因となります。

●必ず販売店に依頼してください。

地震後は必ず点検する



本体取付部が損傷し、落下の原因となります。

●必ず販売店に依頼してください。

⚠ 注意

ふみ台や腰掛けにしない



禁止

けがの原因となります。

人がぶつからない高さに取り付ける



けがの原因となります。

無理な力を加えない



禁止

取付部が破損し、落下によるけがや事故の原因となります。

磁気メディアを近づけない



禁止

磁気記録メディアを近づけると、情報が消えます。

廃棄は専門業者に依頼する



燃やすと化学物質などで目を痛めたり、火災、やけどの原因となります。

取り扱い上のお願い

 **警告**  **注意** に記載されている内容とともに、以下の事項をお守りください。

使用上のお願い

- ハイインピーダンス方式のアンプに接続してください。
- アンプへの入力信号が大きすぎたり、音響装置各部のボリュームを上げすぎたりすると、アンプの出力がひずみ、異常音が発生する原因となったり、本機が破損する原因となります。また、ひずんだ信号の本機への入力、定格入力以下でも破損する場合がありますので、出力がひずまないように音量設定をしてください。

■保守点検契約のお願い

本機を非常用放送設備として使用する場合は、消防法により定期点検、消防署への報告および点検結果の維持台帳への記録が義務づけられています。建物の規模、用途によっては消防設備士または総務大臣が認めた有資格者による点検が必要です。

非常用放送設備が正しく動作するために、保守点検契約の締結をお勧めします。保守点検契約の締結については、販売店（工事店）または販売会社にお問い合わせください。

■日常点検をしてください

非常時に、機器が正常に動作するよう日常点検を行ってください。

■日常点検時に異常を発見した場合は、ただちに販売店または保守契約店にご連絡ください。

■必ず定期点検を行ってください

日常点検は機器の動作の一部だけを点検するもので、すべての点検を行うものではありません。必ず定期点検を行ってください。

表示について

本機の識別やその他の表示は、ベース内部（8ページ）をご覧ください。

設置上のお願い



警告

- 工事は必ず販売店に依頼してください。
工事を行う前に、「安全上のご注意」をよく読んでその指示にしたがってください。接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 傷害防止のため、この機器は、取扱説明書にしたがって天井にしっかりと取り付ける必要があります。

設置工事は電気設備技術基準にしたがって実施してください。

設置作業は、設置後の安全にかかわる重要な作業です。設置中および設置後の事故を防ぐため、工事は販売店や専門の工事店に依頼してください。また、必ず定期的に保守点検を行ってください。点検は、販売店に依頼してください。

落下などの事故を防ぐため、以下の項目を必ずお守りください。

設置上の安全注意事項

スピーカーを取り付けるときは、以下の事項をよくお読みのうえ事故が発生しないように注意してください。

- ヘルメット、安全靴、安全帯などの安全具を必ず着用してください。
- 高所作業車の操作、足場組み立てについては、必ず有資格者が作業してください。
- 作業は、周囲に人がいないことを確認してから行ってください。
- 落下、転落など安全対策を実施してください。
- スピーカーを接続する際には、接続されるアンプなどの機器の電源を切ってから作業してください。感電の原因になります。
- 作業が安全・確実に行えるよう、その他安全管理の徹底を行ってください。

設置について

- 以下のような場所での設置および使用はできません。
 - ・雪の落下が予想されるような場所（軒下なども含む）
 - ・プールなど、薬剤を使用する場所
 - ・工場やちゅう房などの蒸気や油分の多い場所、および可燃性雰囲気中などの特殊環境の場所
 - ・海上や海岸通り、および腐食性ガスが発生する場所
 - ・車両や船舶など振動の多い場所（本機は車載用ではありません）
 - ・体育館などのスポーツ施設で使用する場合などで、ボールなどが直接ぶつかる場所
 - ・使用温度範囲（-20℃～+50℃）を超える場所
- 背面および電線管、配線材、取付ボックスなどから水が伝ってくる場所は、内部に水が侵入するため、設置できません。
- 安全のため、十分な落下防止対策を施し、必ず定期的に保守点検を行ってください。点検は、販売店に依頼してください。
- 使用しない場合は放置せず、必ず販売店に依頼して撤去してください。

設置面について

- 本機を取り付ける天井などの部分は、しっかりした場所に取り付けてください（アンカー 1本あたり、指定された最低引抜強度の5倍以上の引抜強度が必要です）。
- 石こうボードや木部は比較的強度が弱いので取り付けしないでください。やむを得ず取り付けの場合は十分な補強（アンカーの引抜強度を確保できる強度）を施してください。

使用するねじについて

- スピーカーを天井などに取り付ける場合は、11ページに記載されているねじを使用してください。
- アンカーは1本あたりの最低引抜強度の5倍以上の引抜強度が必要です。
- 現地調達するねじ、アンカー、ボルトは必ずステンレス製の規格品を使用してください。
- 緩み止めのために、本機に付属の平座金（みがき丸）とばね座金を使用してください。
- 木ねじは使用しないでください。
- ねじはまっすぐ締めてください。締めたあとは目視にて、がたつきがなく、しっかり締められていることを確認してください。

アンカーへの取り付けについて

- アンカーに締結するボルトの長さは、ボルト径の1.2～1.5倍以上のかん合長さを確保してください。また、アンカーに合わせて、ボルトがアンカーの底に当たらないなど、確実に締結されていることを確認してください。また、埋め込みボルトの場合は、スピーカー本体を取り付けたときに、A寸法（11ページの「アンカーが埋め込みボルトの場合のねじ推奨凸量（A寸法）」の図内）がナットを貫通して2 mm～3 mm程度余裕があることを確認してください。

防滴性能について

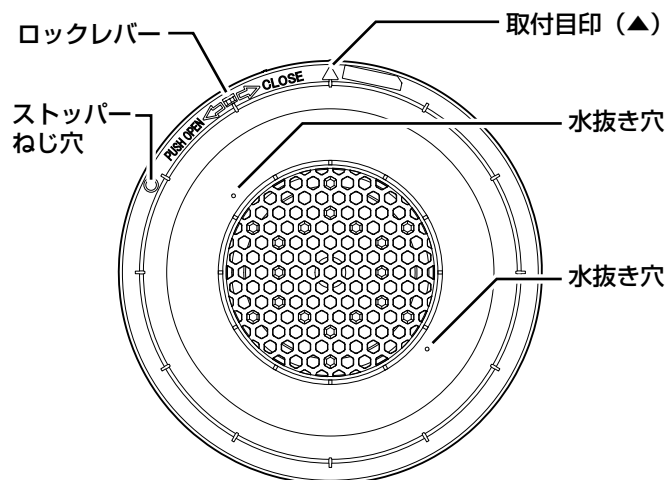
本機は、取り付け面の防滴スポンジを天井面やスイッチボックスに密着させることにより、IPx5の防滴性能が得られます。

ただし以下の場合、本機の防滴性能を発揮できませんのでご注意ください。

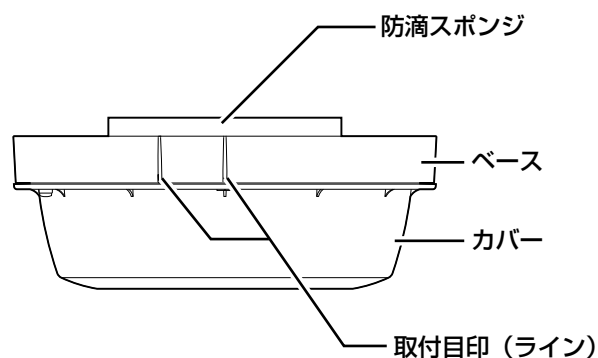
- 取付面の傾きが10度以上を超える場所への設置
- スイッチボックスに取り付けるときに、スイッチボックス自体に水が浸入する隙間がある場合
- 設置場所が取り付け金具、防滴スポンジの寸法に適合していない場合（10ページ）
- 天井面に直接設置する場合で、本機の側面を加工することにより側面からスピーカー線を引き込む場合（12ページ）

各部の名前

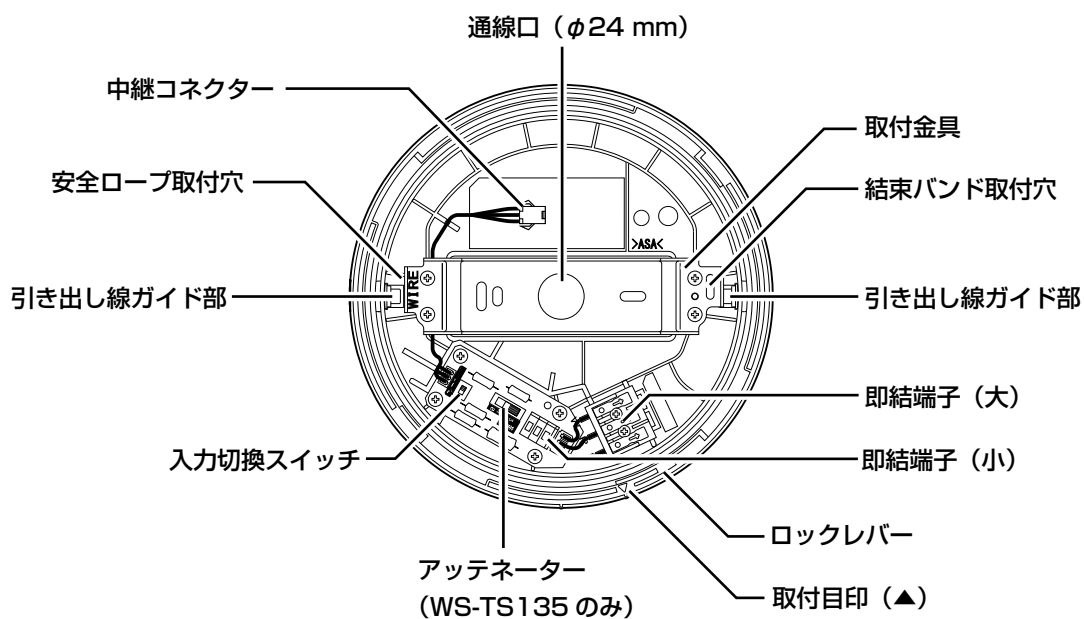
■前面



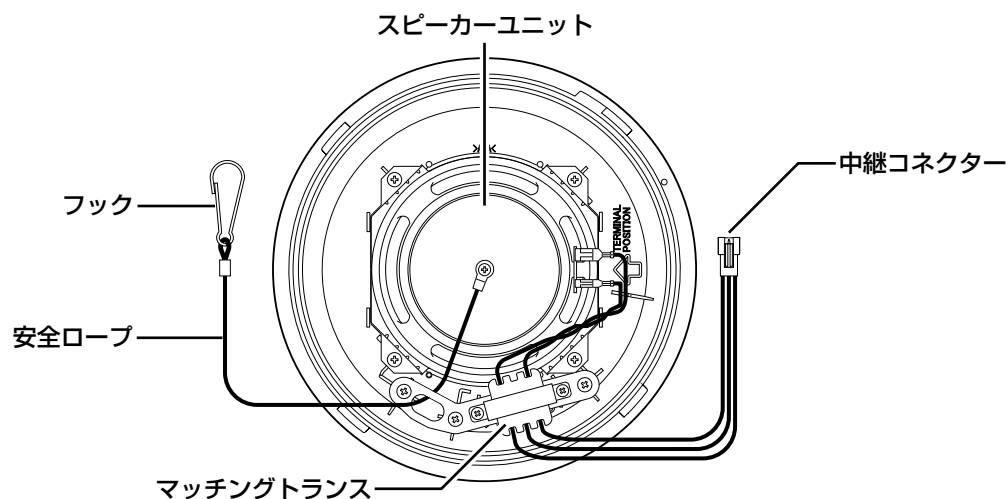
■側面



■ベース内部

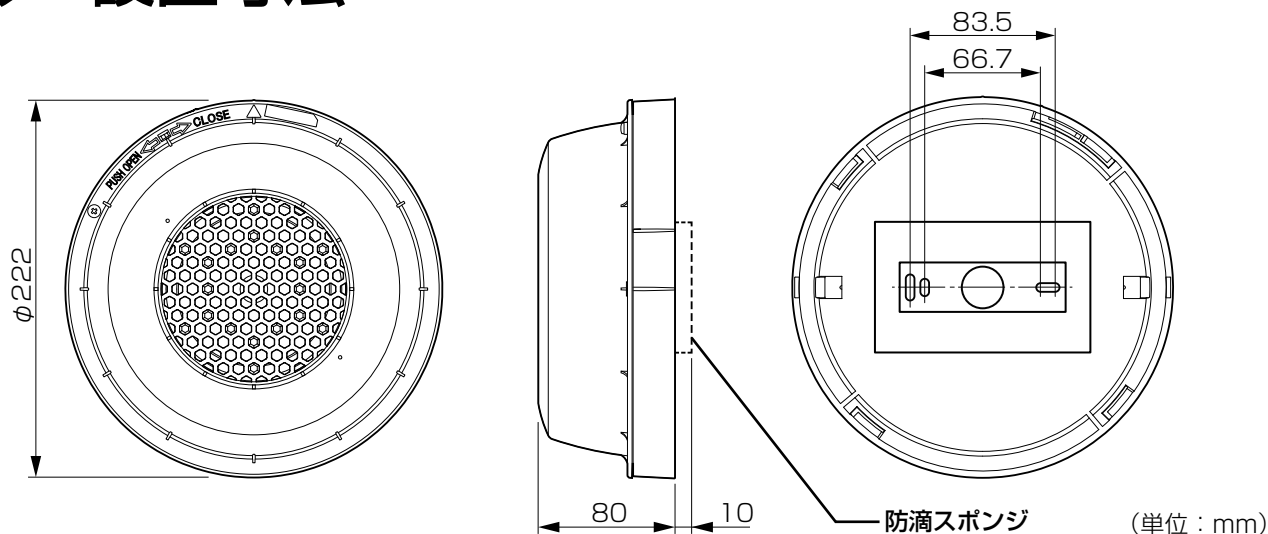


■カバー内部



設置のしかた

外形・設置寸法



工事必要部材と工具の準備

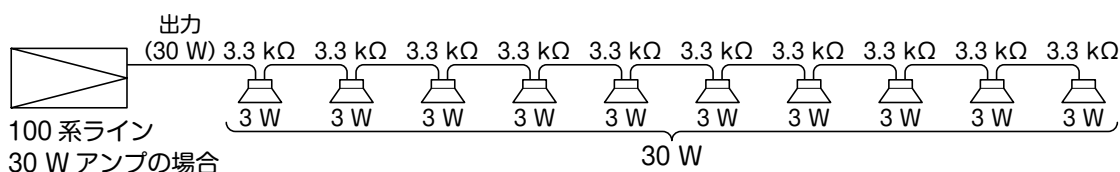
本機の設置工事には、以下の部材や工具が必要です。工事を始める前に準備してください。

- スピーカー本体
- 小ねじ (M4×35 mm)、平座金、ばね座金 (付属品)
- アンカー、およびナット (現地調達)
- アンカー施工用工具
- ニッパーなどスピーカーの配線に必要な工具
- ヘルメット、安全靴、安全帯、脚立など高所作業に必要な装備

作業前の確認

接続について

- 作業を行う前に、アンプの電源スイッチを必ず「切」にしてください。
- 接続するアンプは、必ずハイインピーダンス方式のものを使用してください。
- アンプと本機の配線には、HIV金属管工事または耐熱電線 (HP) を使用してください。配線の線路抵抗による電力損失を考慮して電線の太さを選択してください。
- 本機を2台以上使用する場合は、合成電力が、使用するアンプの定格電力以下になるように接続してください。



最低引抜強度について

アンカー 1本あたりの最低引抜強度は、304 N {31 kgf} です。建築基材部の強度は、アンカー 1本あたりの最低引抜強度の5倍以上を確保してください。

設置場所の確認

設置場所が取付金具と防滴スポンジの寸法に適合しているか確認してください。

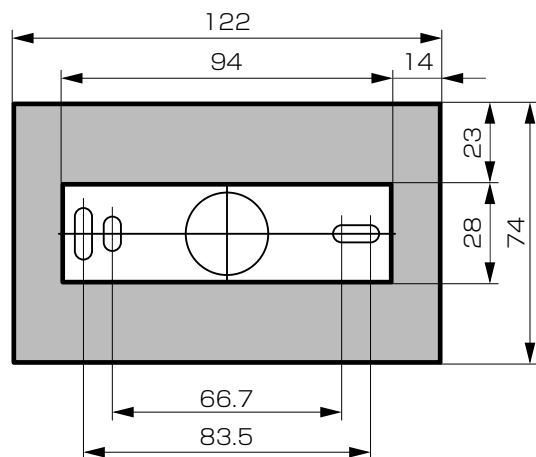
■ベース後面

通線口（ $\phi 24$ mm）

取付金具

防滴スポンジ

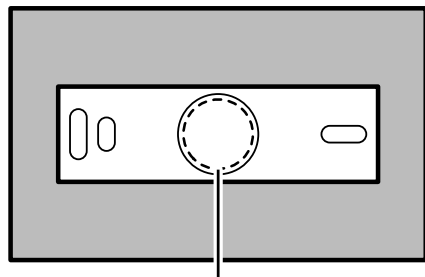
寸法図（単位：mm）



直接天井に取り付ける場合（13ページ）

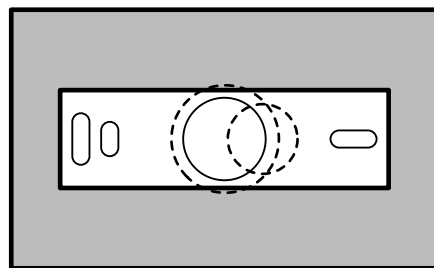
天井のケーブル引き出し穴が、取付金具の通線口（ $\phi 24$ mm）の内側に入ることを確認してください。

<良い例>



天井のケーブル引き出し穴

<悪い例>

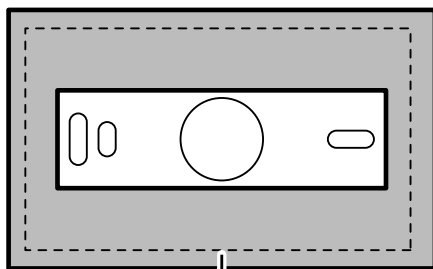


引き出し穴が通線口からはみ出している

スイッチボックスに取り付ける場合

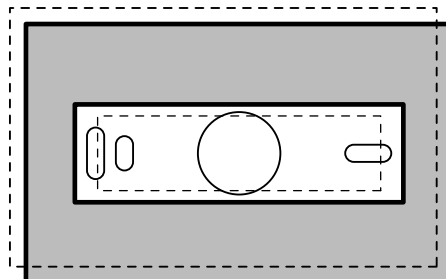
取付金具に適合したサイズのものをご使用ください。また、スイッチボックスの開口部が、防滴スポンジ上にくることを確認してください。

<良い例>



スイッチボックスの開口部

<悪い例>



開口部が防滴スポンジの外側や内側にはみ出している

設置作業

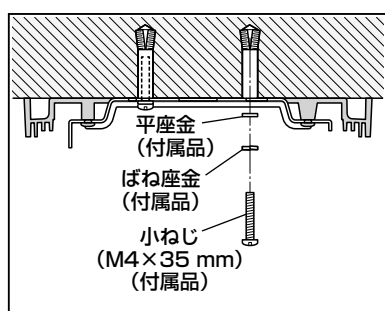
天井にアンカーを打ち込む（天井に直接設置する場合）

重要

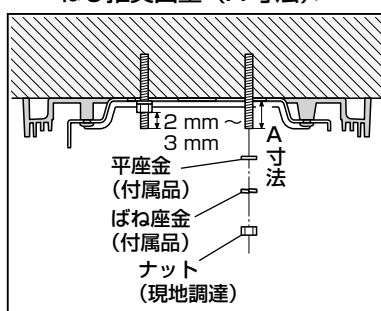
- 設置面の強度は十分確保してください。石こうボードや木部など弱い材料の天井には直接取り付けないでください。やむを得ず取り付ける場合は、十分な補強（アンカーの引抜強度を確保できる強度）をしてください。ねじがアンカーの底に当たらないなど、確実に締め付けられていることを確認してください。

下図を参考にして、天井2か所にアンカー（M4：現地調達）を打ち込みます。

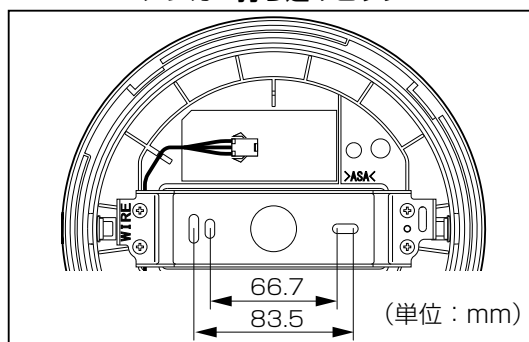
<アンカーがめねじ形の場合>



<アンカーが埋め込みボルトの場合の ねじ推奨凸量（A寸法）>



アンカー打ち込みピッチ



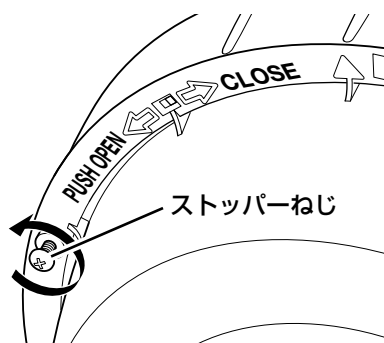
重要

- アンカーを打ち込む際に、目などに切粉が入らないように気を付けてください。
- スピーカー取付アングルを確実に取り付けるため、アンカーは以下の点に注意して打ち込んでください。
 - ・本機の最低引抜強度は、304 N {31 kgf} です。
 - ・アンカーの埋め込み深さは、各アンカーメーカーの推奨値にしてください。
 - ・アンカーが埋め込みボルトの場合は、スピーカー取付アングルを取り付けたときに、A寸法がナットを貫通して2 mm～3 mm程度の余裕があることを確認してください。

カバーとベースを分離する

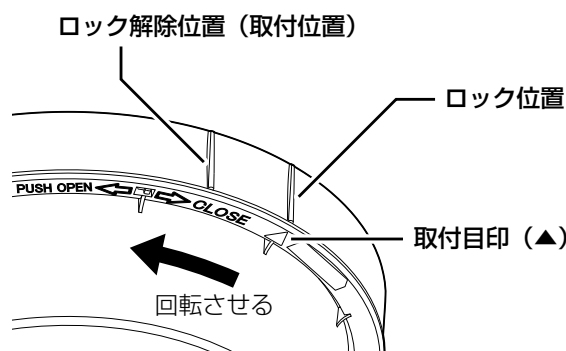
STEP1

ストッパーねじを5 mm程度のすき間ができるまでゆるめます。



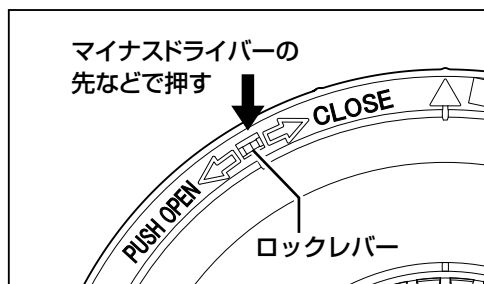
STEP2

取付目印（▲）が、取付目印（ライン）のロック解除位置にくるまで回転させます。



設置のしかた（つづき）

※回転しにくいときは、ロックレバーをマイナスドライバーの先などで押してください。



STEP3

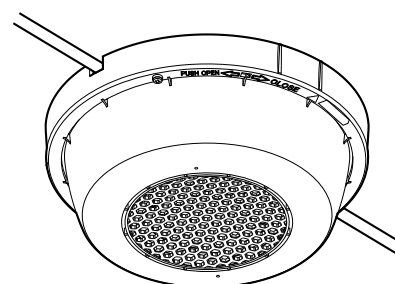
カバーをベースから取り外します。

■通線口が使用できない場合

天井面からスピーカーケーブルを接続できない場合は、本機の側面を加工することにより、側面からスピーカーケーブルを引き込むことができます。

重要

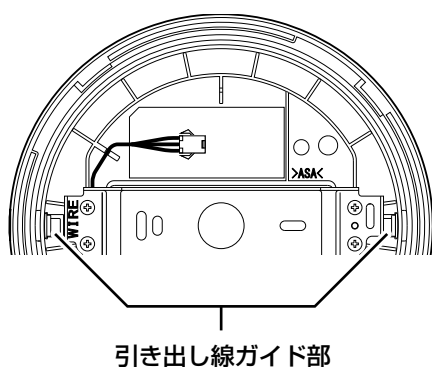
- 加工の際、周囲のものを傷つけないようご注意ください。
- 引き出し線ガイド部を打ち抜いた場合、防滴仕様ではなくなります。



STEP1

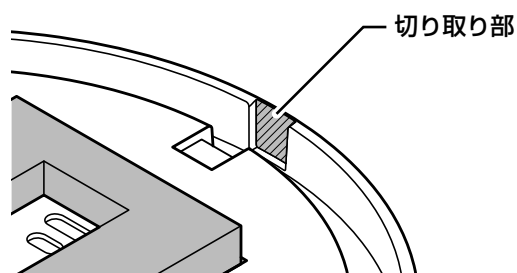
マイナスドライバーなどで、引き出し線ガイド部をベースの内側から打ち抜いてください。

■ベース内部



STEP2

ベース外周の切り取り部をニッパーなどで丁寧に切り取ってください。



STEP3

通線後、必要に応じてコーキング材ですき間を埋めてください。

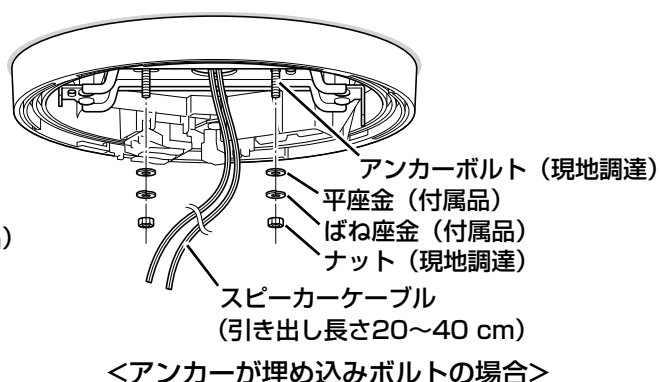
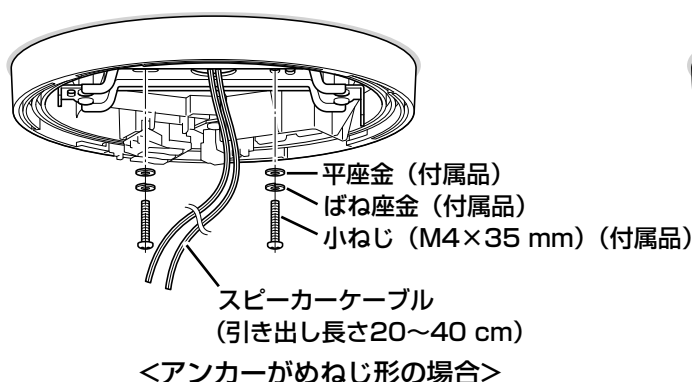
ベースを天井に取り付ける

スピーカーケーブルを通線口から引き出します。

引き出す時の長さは20～40 cm以内を目安としてください。長すぎるとケース内に収納できない可能性があります。

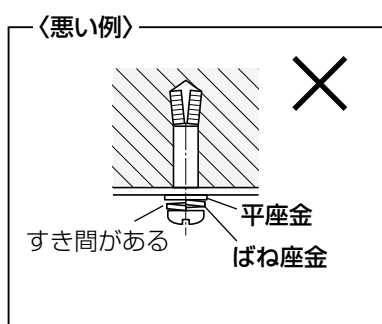
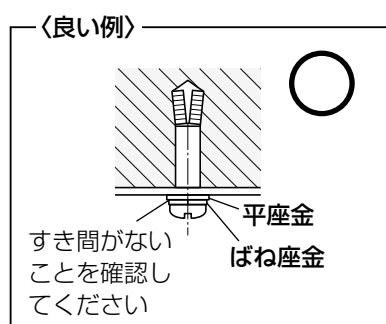
■天井に直接設置する場合

ベースの取付金具を以下のように取り付けます。



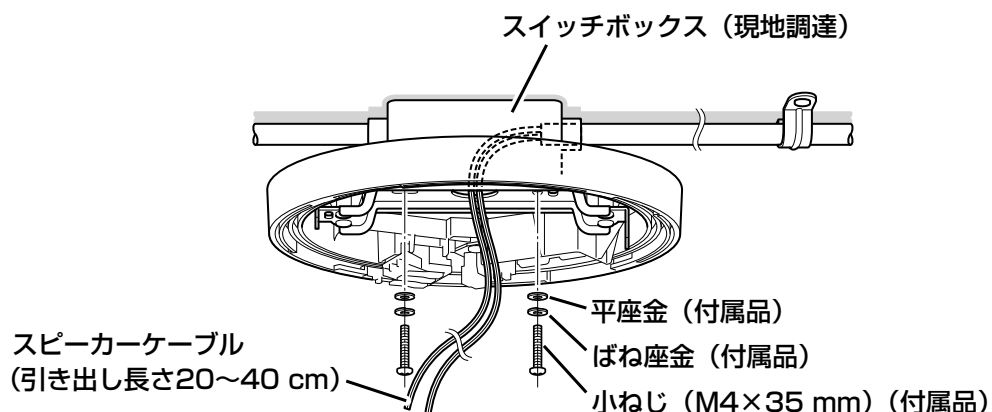
重要

- ねじがアンカーの底に当たらないなど、確実に締め付けられていることを確認してください。
- 取り付けの際は、ばね座金を用いて、必ずゆるみ止めを行ってください。
- ばね座金がしっかりと圧縮されていることを目視で確認してください。
- 十分に締め付けが行われていることを確認してください。



■スイッチボックスに設置する場合

ベースの取付金具を、付属の小ねじ (M4×35 mm)、ばね座金、平座金で取り付けます。



設置のしかた（つづき）

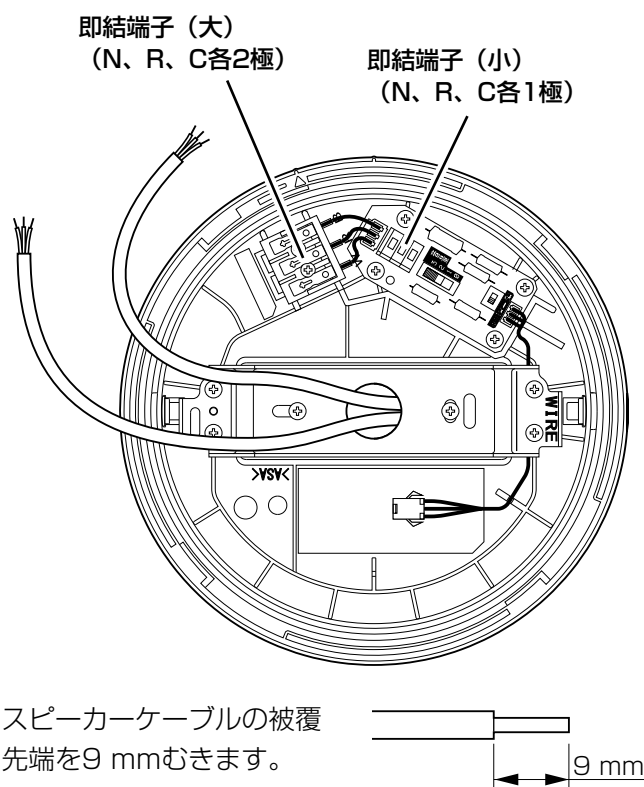
スピーカーケーブルを入力端子に接続する

重要

- 適合スピーカーケーブルは単線（銅線） $\phi 0.8\text{ mm} \sim \phi 1.6\text{ mm}$ です。
- 適合スピーカーケーブル以外は使用しないでください。
- 接続するアンプは、必ずハイインピーダンス方式のものを使用してください。
- 接続するときは、アンプの電源スイッチを必ず「切」にしてください。
- 接続する前に、極性を十分に確認してください。極性を誤って接続すると音が出なかったり、故障したりする原因になります。
- スピーカーケーブルの被覆部分は差し込まないでください。

STEP1

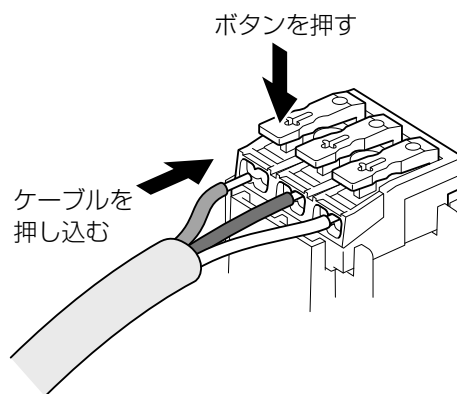
スピーカーケーブルを本機の即結端子に接続します。即結端子は大、小2つあり、N、R、Cがそれぞれ本機内部で並列に接続されています。合わせてN、R、C各3本のスピーカーケーブルを接続できるため、送り配線、分岐配線が可能です。



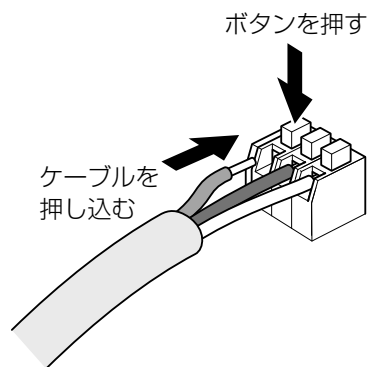
STEP2

即結端子のボタンを押しながら、穴の奥まで確実にスピーカーケーブルを押し込んでください。

■即結端子（大）



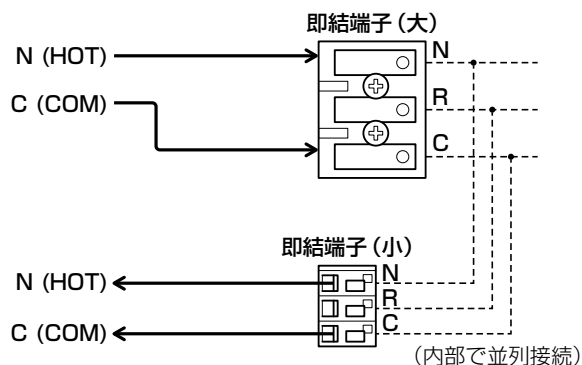
■即結端子（小）



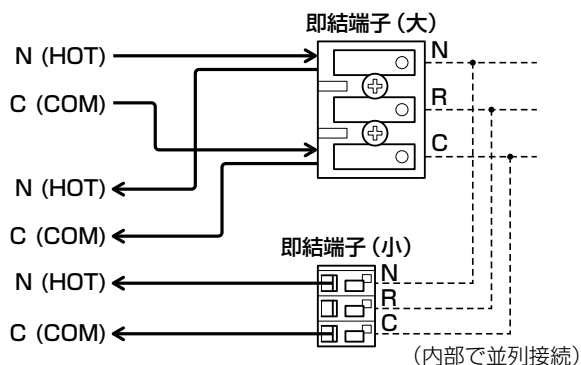
配線のしかた

<WS-TS130>

○送り配線



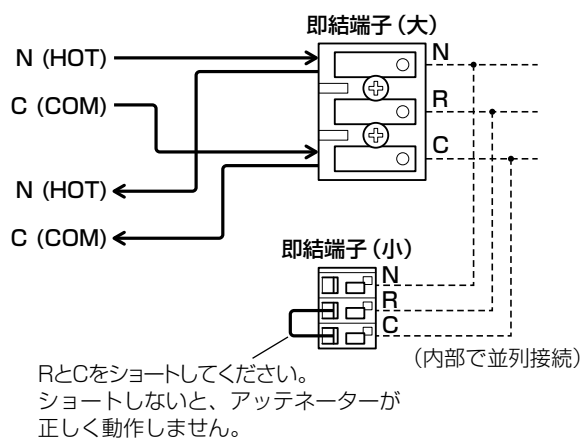
○3分岐配線



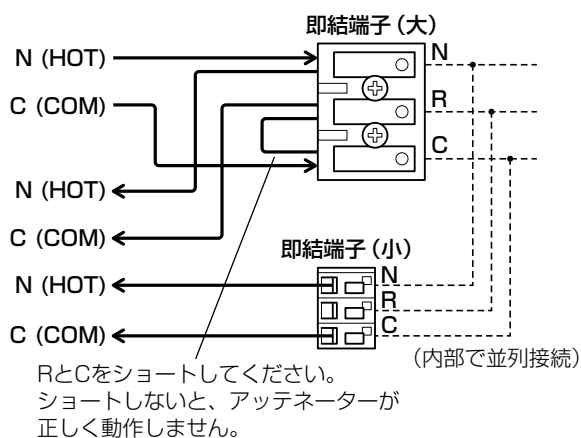
<WS-TS135>

■2線式配線

○送り配線

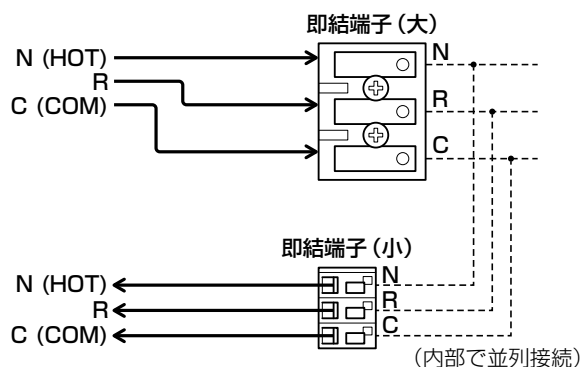


○3分岐配線

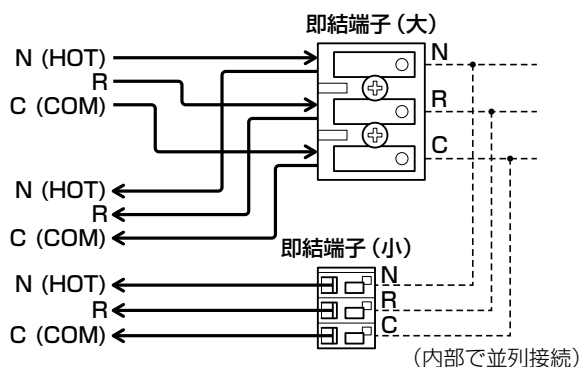


■3線式配線

○送り配線

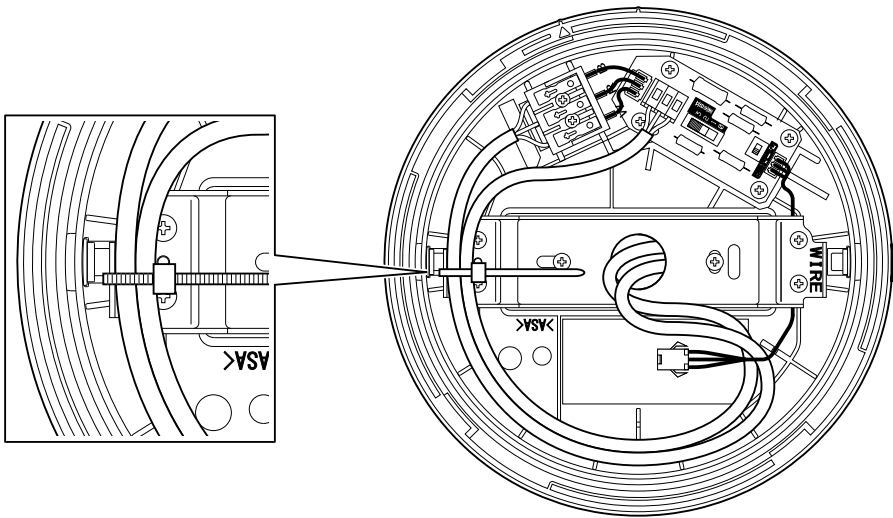


○3分岐配線



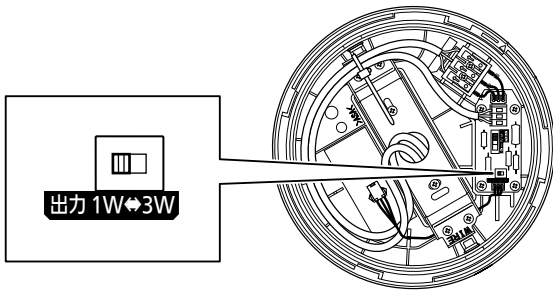
設置のしかた（つづき）

接続後、スピーカーケーブルの余長を結束バンド（付属品）で取付金具に固定します。



入力切換スイッチの設定

出荷時は、1 Wに設定されています。3 Wで使用するときは、スイッチを表示に合わせて切り換えてください。

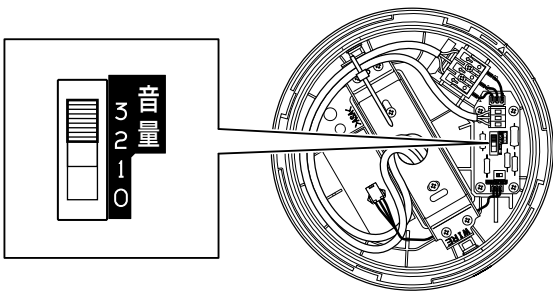


アッテネーターの設定（WS-TS135のみ）

アッテネーター（音量調節器）で音量を4段階で調節できます。
出荷時は、3（0 dB：音量最大）に設定されています。

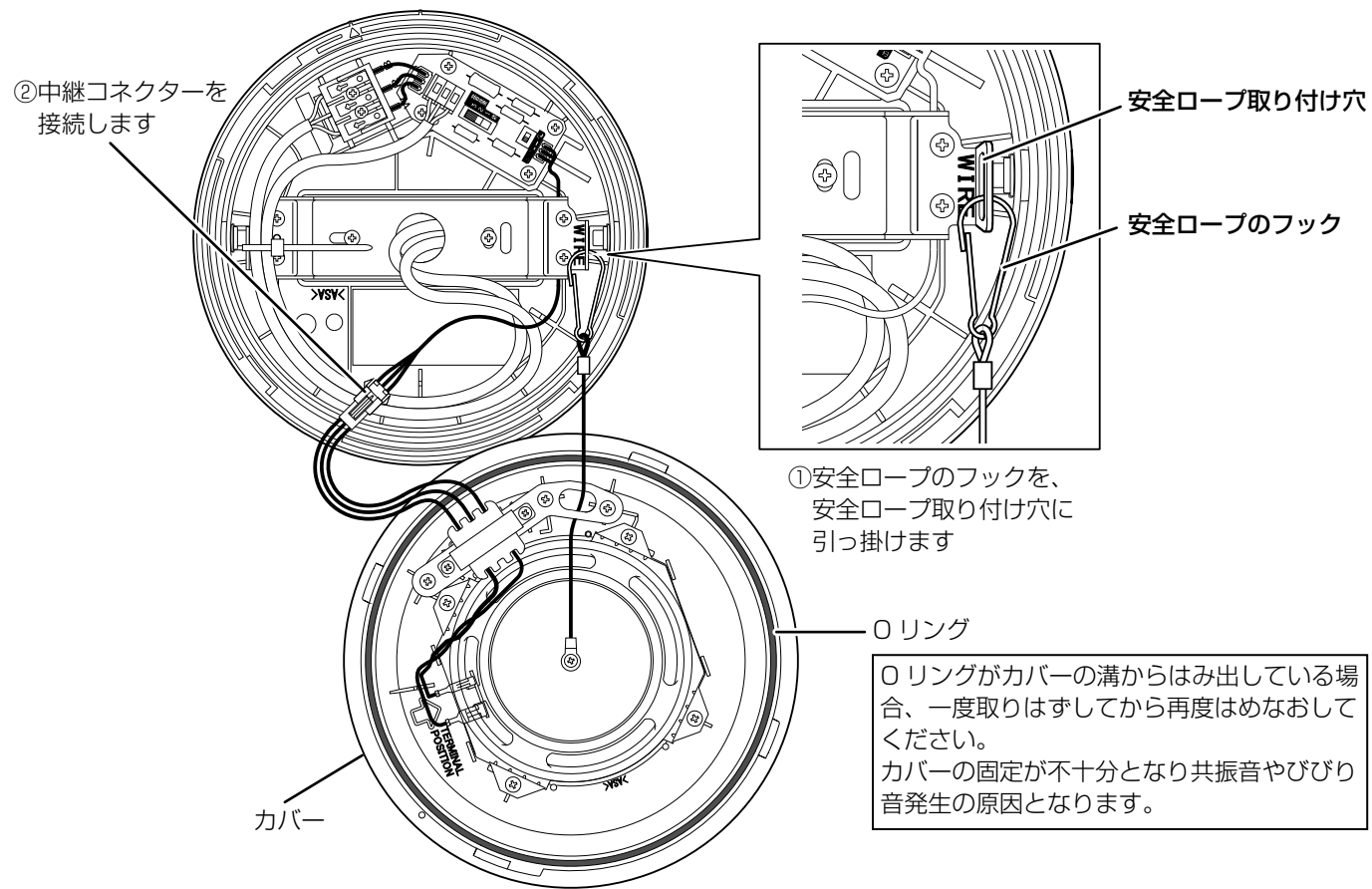
音量

目盛り W数	3	2	1	0
3 W	0 dB	-9 dB	-14.5 dB	-∞
1 W	0 dB	-6 dB	-12 dB	-∞



カバーをベースに接続する

- ①まず、カバー側の安全ロープのフックを、ベース側の取付金具の「WIRE」と書いてある安全ロープ取り付け穴に引っ掛けます。
- ②次に、①の状態、カバー側とベース側の中継コネクタを接続します。



設置作業中の確認

これまでの設置作業について、以下の事項をチェックし、確実に作業が行われたことを確認してください。

項 番	チェック事項	チェック結果
1	スピーカーが容易に外れないように固定されているか？	
2	配線の極性に間違いはないか？	
3	入力切換スイッチとアッテネーターのスイッチは適切に設定されているか？	
4	防滴スピーカーとして使用する場合、通線口から水が入らないように対策したか？	
5	安全ロープのフックを取付金具に引っ掛けたか？	
6	スピーカーケーブルを取付金具に束線したか？	
7	中継コネクタを接続したか？	

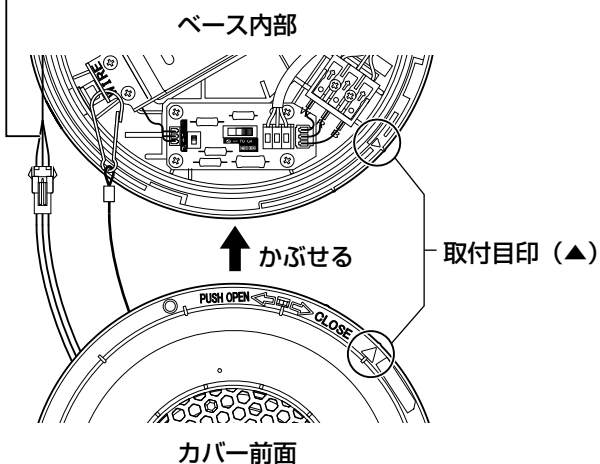
設置のしかた（つづき）

カバーをベースに固定する

STEP1

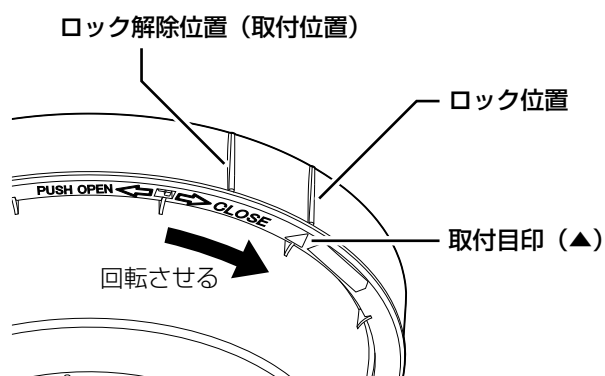
カバーとベースの取付目印（▲）の位置を合わせ、ベースにカバーをかぶせます。

ケーブル類は、挟み込んだり、カバー内部のマッチングトランスやスピーカーユニットなどの突起の下に潜り込んだりしないようにしてください。



STEP2

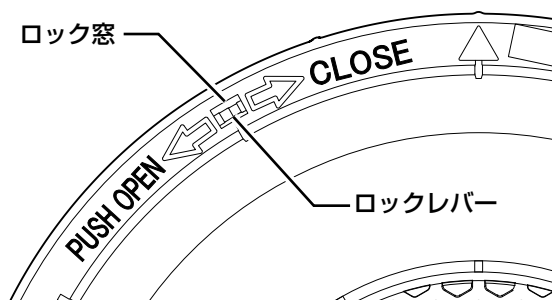
取付目印（▲）が、取付目印（ライン）のロック位置にくるまで回転させてください。



STEP3

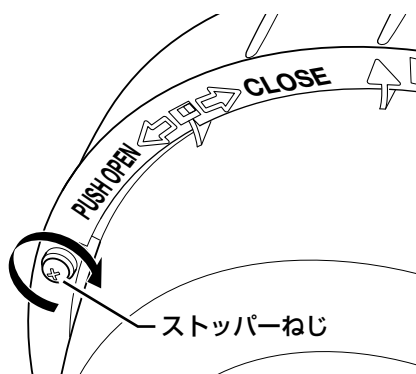
ロック窓からロックレバーが完全に見えていることを確認してください。

ロック状態 ロック窓からロックレバーが完全に見えている



STEP4

ゆるめたストッパーねじを締めます。



設置作業後の確認

設置作業後は、以下のチェック事項をチェックし、確実に作業が行われたことを確認してください。

項 番	チェック事項	チェック結果
1	共振音やびびり音の発生はないか？	
2	ロック窓からロックレバーが完全に見えるか？	
3	ストッパーねじを確実に締めたか？	

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で現象を確かめてください。

これらの対策をしても直らないときやわからないとき、この表以外の症状のときまたは工事に関係する内容のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

現 象	原 因 ・ 対 策	参照ページ
音が出ない	●即結端子からスピーカーケーブルが外れていませんか？	14
	●2線式接続で、RとCOMをショートし忘れていませんか？ (WS-TS135のみ)	15
	●アッテネーター（音量調節器）が「0」になっていませんか？ (WS-TS135のみ)	16
	●中継コネクタを接続し忘れていませんか？	17
音が小さい	●アッテネーター（音量調節器）機能を使って音を小さくしている場合は、音量を上げることができます。 (WS-TS135のみ)	16

仕様

形式	12 cm コーン型
定格入力	3 W、1 W スイッチ切換式
入力インピーダンス	3.3 k Ω (3 W)、10 k Ω (1 W)
出力音圧レベル ※1	92 dB (1 m/1 W)
周波数特性	140 Hz ~ 20 kHz (−20 dB)
アッテネーター (音量調節器) (WS-TS135のみ)	4段階 3 W時 [3] : 0 dB、[2] : −9 dB、[1] : −14.5 dB、[0] : − ∞ 1 W時 [3] : 0 dB、[2] : −6 dB、[1] : −12 dB、[0] : − ∞
コネクタ	即結端子 N、R、C 各3極
適合電線	ϕ 0.8 mm ~ ϕ 1.6 mm 単銅線
消防法関連項目	
警報出力音圧 種別 ※2	3 W : L級 (102 dB) ※3、1 W : L級 (98 dB) ※3
指向特性区分 ※4	W
音響パワーレベル ※4	96 dB
使用温度範囲	−20 °C ~ +50 °C
防水性能	IPx5 (JIS C 0920)
発塵性能	JIS清浄度クラス1に対応 (JIS B 9926の測定において発塵せず)
寸法	ϕ 222 mm×高さ80 mm (背面スポンジ含まず)
質量	約1.4 kg
仕上げ	本体 : ASA樹脂、シルバーグレー (マンセル 5GY8.5/0.5 近似色) 取付金具 : ステンレス

※1 出力音圧レベルは、JISで定められた値で、音声警報「第2シグナル」の値とは異なります。

※2 種別とは、消防法で規定された音声警報「第2シグナル」を音源として、無響室にて得られる音圧 (ピーク値) により定められています。

※3 値は代表値です。

※4 指向特性区分および音響パワーレベルは、消防法の規定により測定された区分および値を用いています。

保証とアフターサービス

よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電 話 () -

お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは

「故障かな!？」(20ページ)でご確認のあと、直らないときは、まずアンプの電源を切り、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名 スピーカーシステム

●品 番 WS-TS130、WS-TS135

●故障の状況 できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 7年

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。

高所設置製品に関するお願い

安全にお使いいただくために、1年に1回をめやすに、販売店または施工業者による点検をおすすめします。

本機を高所に設置してお使いの場合、落下によるけがや事故を未然に防止するため、
下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。

特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。
詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか？		直ちに使用を中止してください
●本機を使用せずに放置している。	▶	事故防止のため、必ず販売店または施工業者に 撤去 を依頼してください。
●取付ねじがゆるんだり、抜けたりしている。 ●取付部がぐらぐらしたり、傾いたりしている。 ●本機および取付部に破損や著しいさびがある。	▶	事故防止のため、必ず販売店または施工業者に 点検 を依頼してください。

長期間使用に関するお願い

安全にお使いいただくために、販売店または施工業者による定期的な点検をお願いします。

本機を長年お使いの場合、外観上は異常がなくても、使用環境によっては部品が劣化している可能性があり、
故障したり、事故につながることもあります。

下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。

特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。
詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか？		直ちに使用を中止してください
● 煙が出たり、こげくさいにおいや異常な音がする。 ● 電源コード・電源プラグ・ACアダプターが異常に熱い。または割れやキズがある。 ● 製品に触るとビリビリと電気を感じる。 ● 電源を入れても、映像 [*] や音が出てこない。 ● その他の異常・故障がある。	▶	故障や事故防止のため、 電源を切り 、必ず販売店または施工業者に 点検 や 撤去 を依頼してください。

※：映像対応していないモデルもあります。

取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

システムお客様相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410** バ ナ ハ ヨ イ フ 受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは https://biz.panasonic.com/jp-ja/support_cs-contact

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック コネクト株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック コネクト株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号